

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	クルーフーム「アルメリア」Ⅱ (西ユニット)	評価実施年月日	平成19年5月5日
評価実施構成員氏名	山田光子 加藤美喜 本藤也哉 白石英子		
記録者氏名	渡辺久芳	記録年月日	平成19年5月5日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	開設時の理念はあるがそれが地域密着型にあるか疑問である。	○	職員全員が理解し実行できる理念が必要と思う。また地域に開かれた理念が必要と思う。
2 ○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念について皆人の眼がいく所に掲示にある	○	理念の確認等の話し合いをミーティング等を通して行ってゆきたい。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	家族や地域への浸透は出来ていない。	○	地域に理念を伝える事が必要ならでは町内会のおたよりを利用する様に伝えたい。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	・あいさつは必ず行っている。 ・通学途中の小学生が気軽に立ち寄って行く。 ・町内の集まりに参加したり、会報を回覧している。	○	これからも町内の人と入居者や職員が気軽に話が出来る様にしてゆきたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	・町内会に入っている。 ・アルメリア内での(夏祭り)に町内の人々を招待し入居者との交流を計る。	○	アルメリアの行事に町内の方々が参加(易く)なる為、家族の理解を得られる様にしてゆく。
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域の高齢者等の暮らしに役立つことの話し合いか取組んでいない。	○	機会があれば認知症の理解をしてもらえる様にしたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	今回評価を受ける事が、自己評価を皆んなで詰合った。	○ 今後外部の評価を生かして詰合を行ないたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では行事等の報告をしていく。	○ 細かい所も意見を集め生かしたい(職員へ伝えても)。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	必要な書類等が市役所から届けられる程度である。	○ もっと密にしてゆく必要がある。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修会には参加しているが実際利用するまでは至っていない。	○ 職員全員に知らせ、利用が未だなく取り組む。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	研修会には参加している。 職員一人ひとりは気を付けている。	○ 研修の報告等で全員に知らせたい。
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居される時に説明をしている。	○ 家族はもう内容を理解し易くなる等工夫が必要

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見は言える様に配慮している。言えない場合でも、家族から話を聞く等している。	○	これからも家族と連絡を密にする
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らししづらさや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ケアプランの提示した時に家族と話をしている。 その他の場合も電話による連絡で伝えている。	○	おたより等の利用もしてゆきたい。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族が来訪した時に話を聞く等している。	○	これからも意見を聞き易くする工夫が必要。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月一回のミーティング時に聞ける様にしている。	○	意見を出し易くする
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	勤務時間の工夫をしている。 (早出を無くし、日勤を2名とする)	○	必要があれば対応出来る様にしていく
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	入居者の安定、安心に配慮している	○	これからも注意していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	必要な研修会への参加を促している。	○	これからも参加してもらう。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	なるべく参加出来る様にしている	○	多くのスタッフが参加してもらえる様にする
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	仕事にやりがい等工夫してストレスとならない様にしている	○	気持ち良く仕事が出来る様に配慮する
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	知識は自信となるのでそれを他の人の関心を高めてゆける様にしている。	○	これからもミーティング等利用していく。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前の面談で話を聞いている（本人と家族）	○	グループホームでの暮らしを本人の希望と合わせ、安心して暮らせる努力をしていく。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聞く機会をつくり、受け止める努力をしている。	グループホームに理解してもらえる様に話をしている。	○	家族にき心配されない努力をしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」ます必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	すぐに入居出来ない時等はアドバイスをしている	○	本当に必要なサービスを受けられる様に努力を続けてゆく
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居時より馴染むまでの間は家族に協力してもらっている。	○	これからも続ける
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に調理を行ったり、ショートショットも1日たり、ふれあい時間を持たせている。	○	工夫して続けてゆく
28 ○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	本人の普段の様子を伝え話し合へ 話し合を設ける努力をされている。	○	家族の協力も大切にして続けてゆく
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていくように支援している。	本人や家族の話を聞く 関係を大切にしていく場を提供している	○	家族と本人が馴染むにしてゆく
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	自室に馴染みの物を持って来てもらっている。	○	これからも続ける

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	前序2~3へ孤立を避くする フロアー2~3にて何う様努めてる	○	話し易い努力を続けてゆく。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現在は出来ていない	○	必要に応じ対応の努力をしてゆく。
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式により把握している。	○	本人との話や表情等に注意してゆく。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センターフォームによる基本情報シート 作成し把握に努めている。	○	家族等からも情報をふやす等努力してゆく。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている。	声掛け見守りから現状把握する様努めている	○	記録の利用等の工夫をする。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	月1回のミーティングを利用したりケアプラン提示時に家族の意見を聞いている。	○	ケアプラン作成時 工夫してゆく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	必要に応じて直している	○	これからも続けていく
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプラン下成 個別の介護計画下成	○	これからも記録を続け職員が共有出来る様にしていく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	特に出来ていない	○	必要に応じて工夫する
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ボランティアを受け入れている	○	努力していく
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	上手く出来ていない	○	多くの情報を集めてゆきたい
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	出来ていない	○	もっと連絡を密にしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	定期的に看護師来院(週2回)	○	これからも続けてゆく。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	往診月2回来院	○	精神科の医師と協力してゆく。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員交替1回	○	これからも協力してゆく。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	責任と情報交換している	○	これからも続けよう。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	病院と相談している	○	全員が理解できる様にしてゆく。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	あまりくわしくは決めていない	○	準備していく必要がある

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
○本人の嗜好の支援 55 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	好みのものを楽しむようにしている。 季節に合わせたおやつ、飲み物を出す タバコの好きな方は、ロビーに喫煙場所をもつけている	○	今の対応を続けてゆく。
○気持ちよい排泄の支援 56 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	時間ごとに声掛けしてはいる。	○	さりげない声かけ等注意を行なってゆく。
○入浴を楽しむことができる支援 57 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人の希望を聞いてはいる。	○	集める様に工夫してゆく。
○安眠や休息の支援 58 一人ひとりの生活習慣やその日々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ナイトリーリピートしてはいる。	○	促し等を付けて行なってゆく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 59 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活圏や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個人の力で今出来る役割を見極めている。	○	楽しく出来る質問等に注意して行なう。
○お金の持つや使うことの支援 60 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を手持したり使えるように支援している。	個人と管理出来る方にはしっかりして毎月一万円施設内を管理している。	○	おつかい程度の管理が出来るように行なってゆく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物・散歩など実施している。	○	天気等に配慮して楽しく外出出来る様にしてゆく。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	施設全体で 温泉や ドライブ、ピクニックなどに行っている。	○	行事等 計画的に行なってゆく。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば 電話出来る 自ら携帯電話を持つている方もいる。 手紙は自由に出せる様にしている。	○	現在の状態を維持出来る様にする。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	知人、友人ともより眺めの良いロビーにてゆっくり 過ごしてもらう。 家族たは、ロビー・自室などでゆっくり過ごしてもらう	○	これからも続けてゆく
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はしない下さい。	○	職員全員が正しく理解出来る様に取り組みたい。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関は出来ていない。	○	他の事へ関心が持てる様にしたり 外出で気分を変えてもらう。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	所在や様子を把握する様、じがけてる。	○	これからも注意を続ける
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬品の管理。 クツを居室で、それぞれ管理	×	必要の無い物はあづかっている
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	防災訓練 衣服のチツク。	○	ヒヤリ、ハット等を利用して全員で取り組みたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	AEDがあるが、訓練はまだ行なわれていない。	○	訓練を行ないたいと思つる。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	防災訓練を行なわれている 地域の人の協力については疑問である	○	地域の人の協力を得らせる努力が必要。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起り得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	家族に要望を聞いてる	○	安全について意見を聞いて対応に生かしていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	定期的に看護師が来訪 電話をして家族へ報告している。	○	いまの取り組みを続けてゆく。
74 ○医薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、医薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個別に管理している。	○	よりくわしく理解出来る様にする。
75 ○便祕の予防と対応 職員は、便祕の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	牛乳・飲料水 歩行運動 レクリエーション	○	これからも続けてゆく。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	うがい 歯みがき・(夜間 洗浄膏)にて消毒	○	これからも続けてゆく。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分量のチェック 摂取量のチェック。チケット表を用いて記録し 状態を把握している。	○	記録を利用し、少ない時の対応を工夫する。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	インフルエンザの予防接種をすすめている 手洗いをすすめている 手摺りの消毒を行なっている	○	これからも続けてゆく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	換食 調理用具の消毒 食器 ・食料管理、(期限へのアピール)	✓	これからも続けてゆく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りの草花などを植え明るい雰囲気作りを心がけている。	✓	これからも続けてゆく。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関、居間には植木等おいている。→食堂 廊下に絵を飾る。 食堂の座席を決めてあり、来易い工夫をしている。	○	これからも続けてゆく。
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファーの設置。	✓	ソファーやロビーを利用して居心地よく過せる様にしてゆく。
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	その様に工夫されていく 家族にも伝えている。	○	これからも続けてゆく。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	ロスナイの設置。 オゾン脱臭器の設置。 窓による換気を心がけている。	○	これからも続けてゆく。
2. 本人の力の發揮と安全を支える環境づくり (2)本人の力の發揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ペリアフリー（廊下幅が広い） ホール電化 手摺りの設置	○	危険な所が無いか日々注意してゆく
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	裁縫 料理 掃除 } できることをやりたい様にしている。 準備や見守りにより安全に配慮している	○	これからも続けてゆく
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	花壇 畑で野菜作り	○	これからも利用し易い様にしてゆく。

V. サービスの成果に関する項目

項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどない
94 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	①ほぼ全ての家族 ②家族の2／3くらい ③家族の1／3くらい ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目

項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98 職員は、生き生きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2／3くらいが ③職員の1／3くらいが ④ほとんどない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2／3くらいが ③家族等の1／3くらいが ④ほとんどない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)